高等学校　保健体育科（体育）

早稲田大学
オリンピック・パラリンピック教育研究センター

◇学年　第１学年

◇単元名　体育理論　「１．スポーツの歴史，文化的特性や現代のスポーツの特徴　ウ．オリンピックムーブメントとドーピング」

◇本時の目標

【知識】

ドーピングが不当に勝利を得ようとするフェアプレイの精神に反する不正な行為であり，能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせる行為であることを理解できるようにする。

【思考・判断】

ドーピングがどのような行為であるか，そしてなぜ禁止されるかを考え，説明できるようにする。

【態度】

ワークシートをまとめたり，グループで意見交換をしたりするなど，学習に自主的に取り組もうとする。

◇使用教材　スポーツ庁「オリンピック・パラリンピックに関する指導参考資料」（pp.32-33）

◇学習の流れ

	学習内容	学習活動	指導上の留意事項	評価規準（観点）
導入 5分	1．オリンピックが感動を与える一方でドーピングという問題が起きていることを理解する	オリンピックに関するエピソードを発表する 映像を見る 指導参考映像資料２分00秒～3分08秒	「何か思い出に残っているオリンピックはある？」 「オリンピックってそもそも何のために始められたか知ってる？」と問い映像を流し，もう一度同じ質問をする 〇オリンピックがスポーツを通して人間形成と国際親善・世界平和のために開催されていることを確認する 〇オリンピックが感動を与える一方でドーピングという問題が起きていることを説明する	問いかけに対して積極的に発言している（態度）

展開①　２０分	**問い①　ドーピングってどんな行為？？**			
	１．ドーピングが「競技能力を増幅させる可能性がある手段を不正に使用すること」であることを理解する	そもそもドーピングがどのような行為か考える ドーピングの語源について理解する ドーピングとは何かについて自分の意見を発表する 答え合わせをする	「ドーピングってどういう行為か説明できる？」 ○自分で考える時間を設定する ○ヒントとしてドーピングがアフリカの民族「ズールー」が戦意高揚のために飲んでいたブドウの果皮からつくられるアルコール飲料「ドップ」（オランダ語）に由来することを説明する ○ドーピングが「競技能力を増幅させる可能性がある手段を不正に使用すること」であることを説明する ○リオ五輪の際にロシアの国家ぐるみのドーピングが発覚したエピソードも踏まえて説明する（新聞記事などを配布して読ませてもよい）	自分の意見を発表している（関心・意欲・態度） みんなの考えをメモしている（関心・意欲・態度）
展開②　２０分	**問い②　ドーピングって何で悪いの？**			
	２．ドーピングを禁止する根拠が，フェアプレイの理念に反する，選手の健康を害する，社会に悪影響を及ぼすという３点であることを理解する 3. ドーピングがオリンピックムーブメントに反する行為で，スポーツの価値を否定することにつながることを理解する	ドーピングが悪いとされる根拠について自分の考えを書き，グループで共有する ドーピング禁止の根拠を発表する オリンピックムーブメントに関する映像を見る 5 分 37 秒～7 分 10 秒	「ドーピングって何で悪いの？」 ○なかなか自分の考えが出ない人には，周囲と相談するように声かけをする ○発表内容を板書しながらフェアプレイの理念に反する，選手の健康を害する，社会に悪影響を及ぼすという３点にまとめていく ○ドーピングがオリンピックムーブメントに反する行為であることを理解させる	自分の意見を発表している（関心・意欲・態度） みんなの考えをメモしている（関心・意欲・態度）
まとめ　５分	**問い③　ドーピングはどうやって防げるか？**			
	4. ドーピングが禁止される理由について説明して，その防止方法について自分なりの考えを提示できる	ドーピングの禁止される理由について再確認する	○ドーピングが禁止される理由を書いたうえで，ドーピング防止策を自分なりに考えて書くように指示する	ドーピングの禁止理由を説明できる（知識） ドーピングの防止方法を考える（思考・判断）